



マグマはどうして^{あつ}熱いの、どれくらいの^{おんど}温度なの

マグマは、1000~1200^{どスィー}

マグマとは、^{ち かすう}地下数キロメートルから、^{すうじゆつ}数十キロメートルの^{ところ}所にある、^{がんせき}岩石がどろどろにとけた^{こうおん}高温の物質で、^{かざん}火山が^{ふんか}噴火するとき、^だふき出してくるものです。マグマの^{おんど}温度は、だいたい1000~1200 です。

^{ちひょう}地表から、5~40キロメートルの^{ところ}所を^{ちかく}地殻、^{したやく}その下約2900キロメートルまでを、^{した}マントルといひます。その下を^{かく}核といひ、^{がいかく}外核と^{ないかく}内核に分かれています。

^{ちきゅう}地球の中が^{なかに}高温になっている

マグマは、^{ちかく}地殻の下部から、^{じょうぶ}マントルの上部でできます。マントルは、1000^{いじょう}以上の^{こうおん}高温で、^{あつりよく}圧力（^{もの}物をおしつける^{ちから}力）も、^{ひじょう}非常に^{たか}高くなっています。

^{ちきゅう}地球の中は、^{なかに}深くなるほど、^{おんど}温度が高くなっています。外核の^{がいかく}温度は約5500、^{ないかく}内核は約6000にもなっています。このように、^{ちきゅう}地球の中が^{なかに}高温になっているので、^{こうおん}マグマも高温になります。（監修・国司 真）

